

地域政策の方向について

経 済 財 政 会 議

平成23年7月28日

(地 域 政 策 局)

基本認識

今後、人口減少・少子高齢化が一層進む中、地域の活力を維持・向上させるためには、多様な主体の参画のもと、今、地域が直面している課題に対応するとともに、地域の特性や資源を活用し、他にはない魅力を創出しながら、新たな活力を生み出すことが必要

目指す姿

地域の特性や資源を生かした個性ある豊かな地域の実現

中山間地域 人と自然が作り出す中山間地域ならではの環境の中で、ゆとりある生活を実現

相互補完

都市地域 県全体の持続的な発展を牽引する地域として、新たな活力を創出

- ◇ 若年者の流出や自然減の増による人口減少
- ◇ 基幹産業である農林水産業等の低迷
- ◇ 集落機能が低下した小規模・高齢化集落の増加
- ◇ 深刻な医師不足, 生活交通の縮小など日常生活を支える機能の低下
- ◇ 森林の荒廃・耕作放棄地の増加 など

4次にわたる過疎立法に基づく対策, 県の重点的取組により, 社会基盤整備, 医療・介護・福祉の確保等一定の成果

引き続き人口減少と著しい高齢化に直面し, 依然として多くの課題を抱えている現状

中山間地域における生活の基礎的条件整備と, 持続可能な地域構造への転換(まちづくり, 産業等)が必要

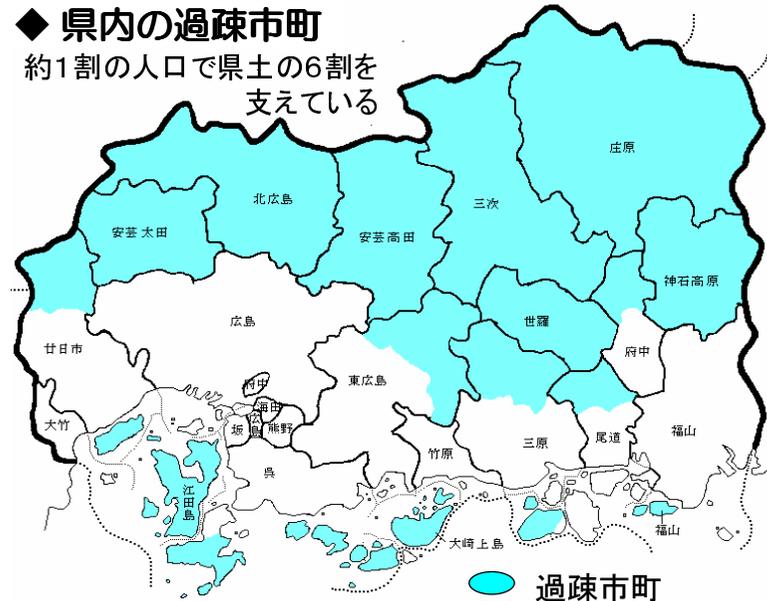
◆ 県内過疎地域における集落の状況

調査時点: H22.4

区分	過疎地域の集落数	高齢者割合50%以上集落	10世帯未満の小規模集落
全国	64,954	10,091 (15.5%)	6,214 (9.6%)
中国圏	12,694	2,672 (21.1%)	1,901 (15.0%)
うち 広島県	3,369	711 (21.1%)	606 (18.0%)

◆ 県内の過疎市町

約1割の人口で県土の6割を支えている



中山間地域

過疎対策推進の施策の体系

魅力ある中山間地域の形成

～持続可能な地域とするために～

◆ 地域リーディング産業等の育成

- 地域を支えるリーディング産業の再構築
- 特色ある地域資源等を活かした産業育成

産業対策を基本とした
総合的な取組を行う市町への支援
→ 「過疎地域の未来創造支援事業」

<関連施策>

- ◇ 地域を支える人材の育成・確保
 - 若者をターゲットにした地域への誘引対策
(関連産業の振興, 市町の定住環境, 子育て・教育環境の充実)
- ◇ 交流・定住等の促進

生活を支える機能の確保

～安心して住み続けられる地域であるために～

◆ 住民の安全・安心な暮らしを支援

- 地域医療の確保
- 生活交通の確保
- 情報通信基盤の整備
- 集落機能の維持

取組を支える法的裏付け

過疎地域自立促進特別措置法の
拡充延長 (～H28.3.31)

自立促進のための特別措置の拡充

過疎債対象のソフト事業への拡充

地域医療, 生活交通の確保, 集落維持・
活性化等生活の安全・安心の確保

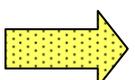
※ 市町との連携による地域課題の解決

1 趣旨

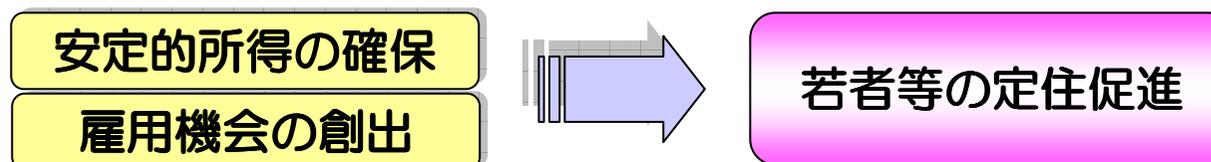
産業対策，特に農林水産業の構造改革に向けた取組を基本に，未来に向けて持続可能な地域を創造する市町を支援し，魅力ある豊かな地域づくりを推進する。

2 事業スキーム

- (1) 事業主体：全域過疎市町（9市町を対象）
- (2) 目標設定：概ね5～10年後の目標（人口減少幅の抑制，農業生産額，観光消費額の増など）
- (3) 支援内容・スケジュール

年 度	22年度	23年度	24年度	25年度～32年度
実施事業	 計画策定	 事業実施		
事業支援	検討会，先進地視察等計画策定経費 (補助率1/2)	計画に基づく重点的取組を 2年間交付金による支援 (交付率10/10)		市町の自主財源

3 期待される効果

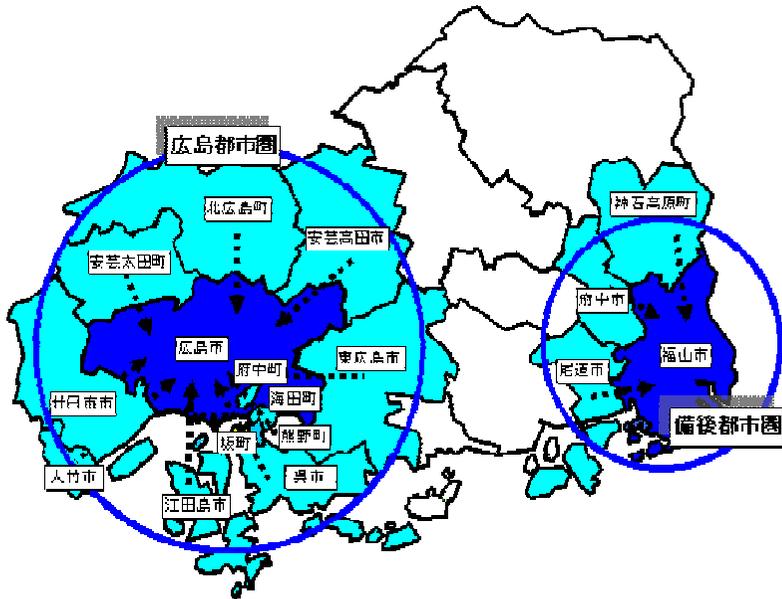


都市地域

都市地域の現状

都市圏の範囲

【都市圏図】

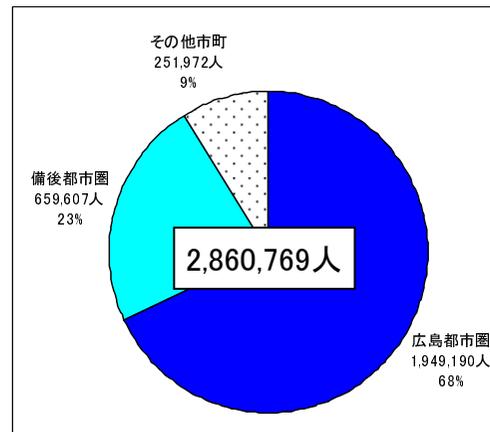


- 広島都市圏は、広島市への通勤流出率が5%以上となる市町が連担した地域
- 備後都市圏は、福山市への通勤流出率が5%以上となる市町が連担した地域

都市圏の人口・経済の状況

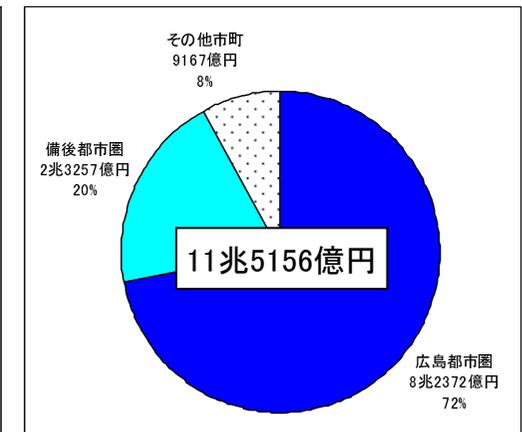
- 平成22年の広島都市圏の人口は約195万人で、広島県の約7割を占め、福山都市圏と合わせると、広島県の9割超を占めている。
- 平成20年度の広島都市圏の総生産額は約8.3兆円で、広島県の約7割を占め、福山都市圏と合わせると、広島県の9割超を占めている。

広島県における人口の状況(平成22年)



(資料:「総務省国勢調査」)

広島県における域内総生産の状況(平成20年度)



(資料:「広島県市町民経済計算」)

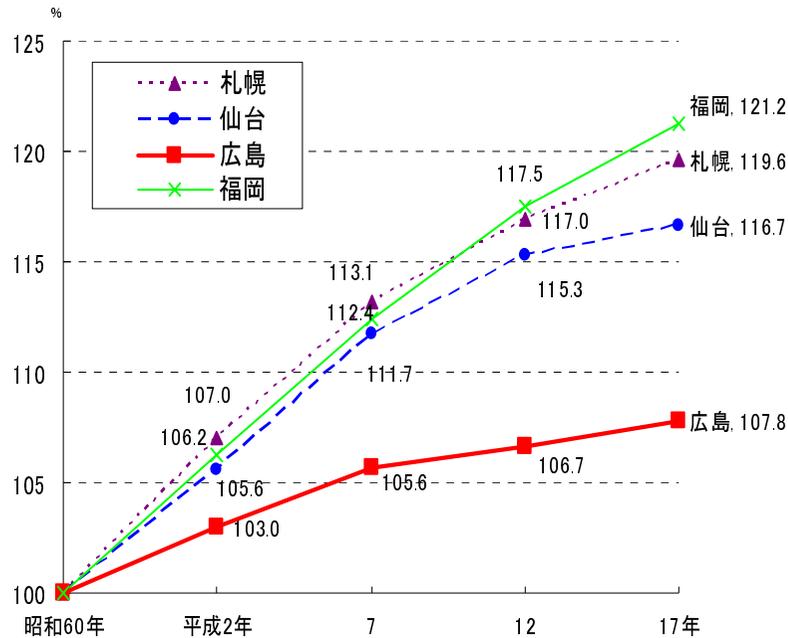
都市地域

広島都市圏の人口推移

地方中枢都市圏の人口推移

- 昭和60年以降の人口の推移は、4都市圏とも増加傾向にあるものの、広島都市圏の伸びは、他の3都市圏に比べ低調

地方中枢都市圏の人口推移(昭和60年=100)

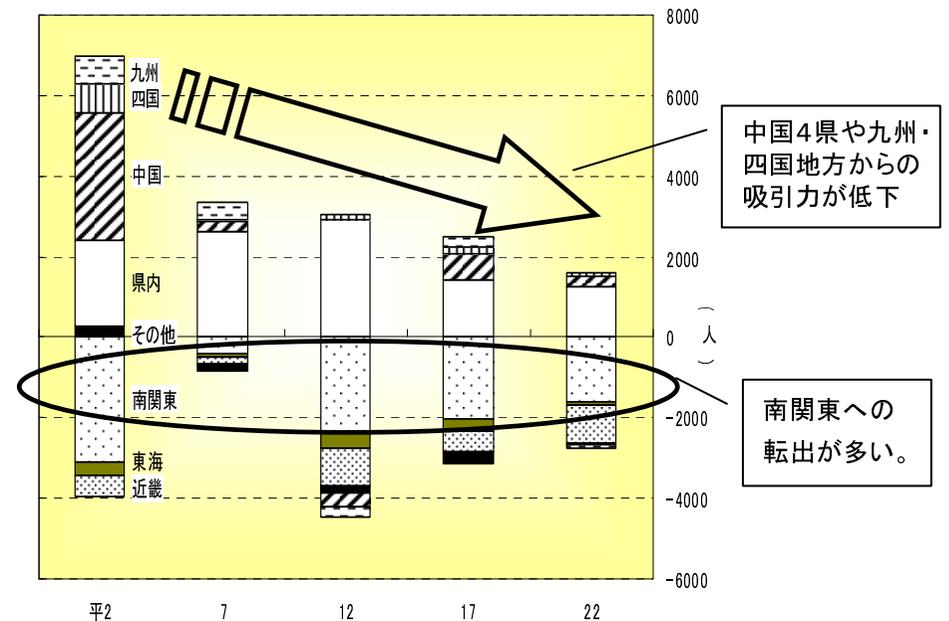


(資料:「総務省国勢調査」)

相手先地域別の社会増減

- 社会増減の相手先をみると、県内からは一貫して人口を吸引
- 20年前に社会増を支えていた中国4県や九州・四国地方からの転入超過は大幅に減少
- 社会減は、南関東等の三大都市圏への転出が依然として高い割合

広島都市圏における相手先地域別の社会増減



中国4県や九州・四国地方からの吸引力が低下

南関東への転出が多い。

(資料:「広島県人口移動統計調査報告書」)

人口減少・少子高齢化の進行やグローバルな経済競争が激化する中、厳しい地域間競争に打ち勝って本県が持続的に発展していくためには、成長の牽引役として人口や経済活動が集中している都市地域に目を向け、人々や企業を引きつける魅力ある地域として、「まちづくり」の主体である市と連携し、その発展を促すことが必要

都市地域の発展のため、県として取り組むべき有効な施策とは

(検討例)

- 都市地域に点在する未利用地の利活用
- 人々の交流を促進する交通基盤の整備
- 新たな県・市連携事業の推進(ソフト事業を含む。)